令和3年度 取組目標

1 校務分掌（その1）

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法
教務	①校務支援システムの活用	①校務支援システムの運用をよりスムーズに行い、効果的な活用ができるよう、各種証明書類の発行等も含めマニュアル整備などを行い、職員のサポートを行う。
	②読書活動の推進	②「朝の読書」活動を中心とした読書活動を推進し、生徒の図書室利用度を向上させる。
	③積極的な学校行事等の情報提供	③学校行事や式典、表彰等について、速やかに報道提供を行う。 ④ICTの積極的な活用を目指す。 ④ホームページを活用した情報発信を充実させる。 ⑤メール配信を積極的に活用し、必要な情報を家庭に迅速に伝える。
研究企画	生徒が学校生活に意欲的に取り組めるように授業研究とTSPミーティングの充実をはかる。	
	①道徳的、人権教育的観点を取り入れた授業研究の実践	①授業研究に道徳的、人権教育的観点を取り入れ、生徒の感情を尊重しながら、人権感覚を養わせる授業を目指す。
	②生徒主体の授業の実践	②教材等や授業展開を工夫することによって、生徒に関心を持たせ、活発かつ円滑な生徒主体の授業(アクティブラーニング)の実現を目指す。
	③TSPミーティングの充実	③議題の精選に努め、TSPミーティングの充実をはかる。
進路指導	「進路意識の高揚・希望進路の実現」に向けて以下の項目について実践する。	
	①受験事業所・受験校の確保	①可能な範囲で企業訪問・大学等訪問を行い、受験事業所・受験校の確保に努める。
	②各種のガイダンスやHR活動(進路指導関係)の充実	②新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じつつ、可能な範囲で各種のガイダンスを計画・実施する。また、生徒の実態にあわせて情報の質・量を精査し、本校生にとってより有効な情報提供をHR活動等を通じて行う。
生徒指導	③入試・入社試験対策および面接指導の充実	③進学課外や適性検査対策問題集の学習を通して、入試・入社試験に向けての学力を高める。また、面接カードを使用し、複数の教職員で面接練習を実施する。
	①『挨拶の励行・服装の整備・時間を守る・清掃をきちんとする』等、基本的な生活習慣に対する意識の徹底と確立を図る。	①朝の校門指導を継続して行い、挨拶・遅刻・服装についての指導を行う。教員も積極的に声かけを行う。
	②生徒が安全で安心して学べる学校であること。そして、地域の人々からも信頼される学校であるように努めていく。	②いじめや盗難が発生しないように学年団・担任・教育相談部等と連携を図り、防止に努める。また、いじめ防止委員会の充実を図る。
人権・同和教育	③道徳教育を継続し、相手を思いやる気持ちや感謝する気持ちが育めるよう努めていく。	③各種講演会・安全教室を実施し、思いやりの心を育てることと、自己管理能力を向上させる。
	①生徒の人権感覚を高め、人権課題を主体的に解決していく姿勢を養う。	①(生徒)人権・同和教育HRの教材・内容の充実を努める。先進校や他校の教材・指導案を参考にしながら、教材や内容の更新・充実を図る。生徒向け人権だよりを発行して、人権意識を高める。
	②教職員の人権に関する知的理解を深めるとともに、人権感覚を養う。	②(教職員)研究会・現地研修会等の案内を積極的に行い、強く参加を呼びかける。新転任者や経年経験者研修対象者への研修や、全員を対象とした定期的な研修の実施を行い、人権感覚の養成を図る。第三次取りまとめを参考にして、各教科の授業において、人権教育的な視点を取り入れてもらう。
特別活動	③保護者に対する啓発を積極的に行う。	③(保護者)人権だよりを通して、人権啓発を行う。PTA総会で人権講話を行う。研究会・研修会等の案内を積極的に行い、参加を呼びかける。
	様々な学校行事(集団活動)、部活動を通じて、未来を支える健康・体力・コミュニケーション力を伸長させるとともに規範意識・礼節をわきまえた社会に貢献できる人材育成を図る。	①部活動を通しての人間形成と各種大会での上位入賞 部活動での地域貢献活動や、各種大会で上位入賞できるよう指導する。 ②様々な行事に生徒一人ひとりが主体的に参加 体育祭や志度高祭、クラスマッチ等の学校行事において、コロナ感染予防等をふまえた工夫した企画・運営や、行事において全校生が一致団結・協力し、計画・運営・活動ができるよう指導・サポートする。 ③ボランティア活動に自主的に参加できる生徒の育成 ボランティア活動を積極的に推進し、自主的に参加する気持ちを養う。 ホームルーム活動での地域清掃活動の取り組み。
	①関係者間の連携を密にして、生徒・保護者および問題を持つ生徒に関わる教員のサポートを行う。	①担任または生徒や関わりのある教職員・保護者・スクールカウンセラー一問の連携を密にして、学校内外の情報収集・共有に努め、連携してサポートを行う。
教育相談	②相談しやすい雰囲気づくりを心がける。	②教育相談便りを発行し、スクールカウンセラー来校の日程等を伝える。学校生活アンケートを実施し、見守りや面談が必要な生徒をピックアップする。
	③現職教育を行う。	③今年度は、2学期中にアルプスかがわの方による講演を予定している。

校務分掌（その2）

保健	生徒や職員の健康に配慮し、元気のある学校づくりを目指す。 新型コロナウイルス感染症の予防をしていく。	①4～6月、生徒の定期健康診断を行う。 ②各学年において正しい知識を理解させ、関心と責任を持たせる。 状況に応じてできることをしていく。 ③新型コロナウイルス感染症の資料の掲示、予防の呼びかけ（検温、マスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒、喚気等） 職員の体力・健康維持に努める。職員健康診断の実施
総務	①保護者(PTA)および地域、同窓会との円滑な関係を維持し、教育諸活動において多面的な協力を得られるよう発信する。	①関係各位に学校行事等の通知と積極的参加を呼びかける。
	②校舎・器具・備品等の丁寧な取扱を意識し、公共物を大切に使用することや整頓することの意識を高揚・定着させる。	②清掃活動や係活動において、その意識を持たせる。

2 学科

学科名	実践目標	具体的な取組方法
商業	専門高校としての特色を出し、社会人・学生として恥ずかしくない人材を育てる。	①ビジネスマナーの向上。 ②検定合格率の向上と高度資格の取得。 ③進学先や就職先の充実。
電子機械	自らの進路目標を設定し、積極的かつ体系的に検定・資格試験取得に取り組むことを通じて、技術・技能の向上と正しい職業観・人生観を育てる。知識・技能の基礎・基本を確実に身につけ、卒業後は地域産業界の中心となり活躍できる、人材を育成する。	①科目間の横断的学習により、専門的知識・技能の基礎基本を充実させる。 ②検定・資格取得への自主的かつ積極的に取り組む。 ③ものづくりを通して、技術・技能の向上と、思考力・発想力を養う。
情報科学	高校生として社会に対応できる人間教育を行い、技術・技能の向上に積極的に取り組む生徒を育てる。	①生活習慣の基本を身につけさせる。 ②資格・検定等の受検率および合格率の向上を目指す。 ③就職・進学(電気系・情報系)の幅を広げる。

3 学年団

学年団	実践目標	具体的な取組方法
3 年 団	生徒の進路実現	①基礎学力の充実をはかる
		②的確な情報発信に努める。
		③面接指導を充実させる。
		④進路決定後の生活指導
2 年 団	①充実した学校生活の実現	①学習活動、時間厳守、清掃活動、服装整備、挨拶励行
	②資格・検定取得への積極的な取り組み	②生徒個々の目標や計画を立てさせ、今何をすべきかを考えさせる。
	③進路意識の向上と実現へ向けての準備	③計画的な学習活動や情報収集を積極的に開始させる。
1 年 団	①良好な人間関係の構築	①人を尊重し、思いやる心を育てる。
	②落ち着きのある学校生活	②挨拶・服装・清掃・時間厳守の徹底など規範意識を持たせる。
	③学力向上と進路実現への啓発	③検定取得等の高い目標を持ち、計画的に学習する態度を養う。